



「義を見てせざるは勇なきなり」私、成田光雄は、大先輩である佐伯光一さんが22年間しっかりと守ってこられた防災・福祉への情熱と、保守という炎を、地元から消してはならぬという強い思いで、このたびの富山市議会議員選挙に挑みました。

たったひとにぎりの、しかし真っ白な小さな勇気だけを武器として、育てて頂いたこの愛する故郷の為に「一人びとりに笑顔を届けたい」という情熱をもって戦い、地元のみならず、まから熱いご支援をいただき、当選させていただきました。



4月7日神事・出陣式を終え出発！
交差点で遊説活動をしながら支援を呼びかける。



たばた裕明衆議院議員と平木柳太郎県議会議員から熱い支援をいただきがっちり握手。

選挙期間中に片山さつき参議院議員が、公務で来県され自民党候補に激励。



期間中はしっかりゲンを担ぎ、ラッキーカラーの黄色の配布物やネクタイ等、常に活用し身につけていました。



新人成田さん最年少当選

「やったぞ」。日付をまだいまだ15日午前0時40分すぎ、自民新人の成田光雄さん(43)の当確が伝えられると、支援者「地盤を引き継いで約1カ月前に出馬を決断、今回の当選者の中では最年少だった。佐伯先生が22年間燃やし続けた情熱の炎を消すことなく、地域のために精いっぱい頑張りたい」と声を詰まらせ、181秒の長身を深々と折り曲げた。

ふるさと富山に対する熱い想いを、勇気と情熱をもって「誰からも選ばれる魅力ある都市」を目指し、富山市の発展の為に、持てる力すべてを最大限に発揮し取り組む覚悟でございます。

市民の皆様には、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



6月定例会に一般質問しました。

- 1、災害につよいまちづくりについて
- 2、富山駅前周辺の都市空間整備について
- 3、観光資源のネットワーク化の推進について
- 4、空き家対策について

市の回答は別紙、市政レポートに記載。



6月14日、主権国家及び憲法改正を推進する富山県地方議員連盟設立総会に参加。現在の憲法の縛りにより領土・領海の自衛すら拘束される状況のなか、日本の国際社会における責任が問われています。主権国家としてのあり方や憲法改正の議論を推進し、地方議員である我々も責任を持って取り組んでいきます。

富山市主催の25年度水防訓練に参加。消防各方面団、県土木、県警本部、地元自主防災会など376名の参加により関係機関の相互の協力体制の強化と水防工法技術の錬磨を図りました。

毎年、藤ノ木分団も訓練に参加しています。



6月29日常願寺公園スポーツクラブ総会に参加。常願寺公園を拠点にサッカー、乗馬教室などスポーツを通して住民の心身の健全な発達・スポーツの振興に貢献しています。平成27年度法人格取得に向け、さらに社会的信頼・自主運営を目指し組織を充実していきます。

富山市施設の駅前CICビルのこどもプラザ・駅南図書館をまちなか子育て交流施設を見学。ファミリーサポートセンターなど相談窓口もあり、子育てに関する様々な情報が得られる場所でもあります。



若い力を結集し、健康でいきいきと、安心して暮らせる住みよいまちづくりを目指します！

